

TIS成長への道筋

～ DSSで進化するテルモのコアビジネス ～

テルモ株式会社
代表取締役社長CEO
鮫島 光

2025年11月12日

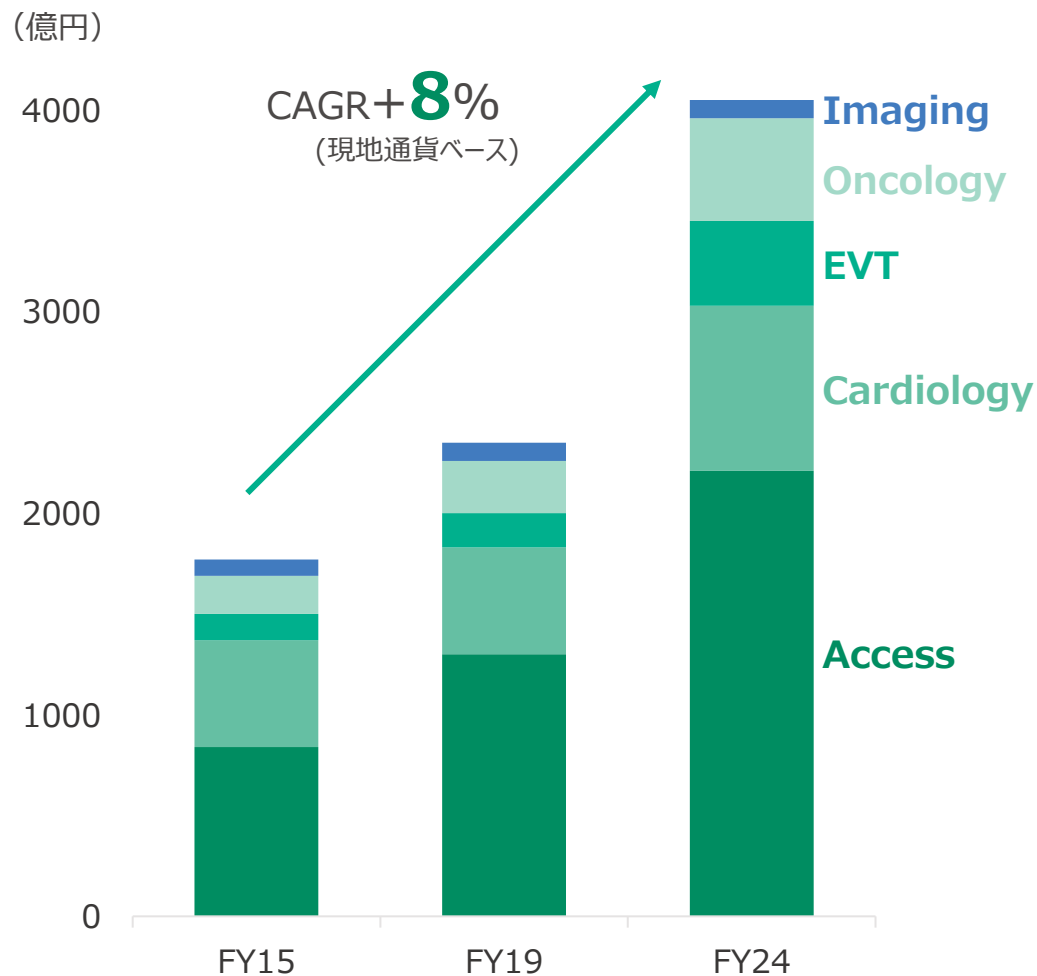


おことわり

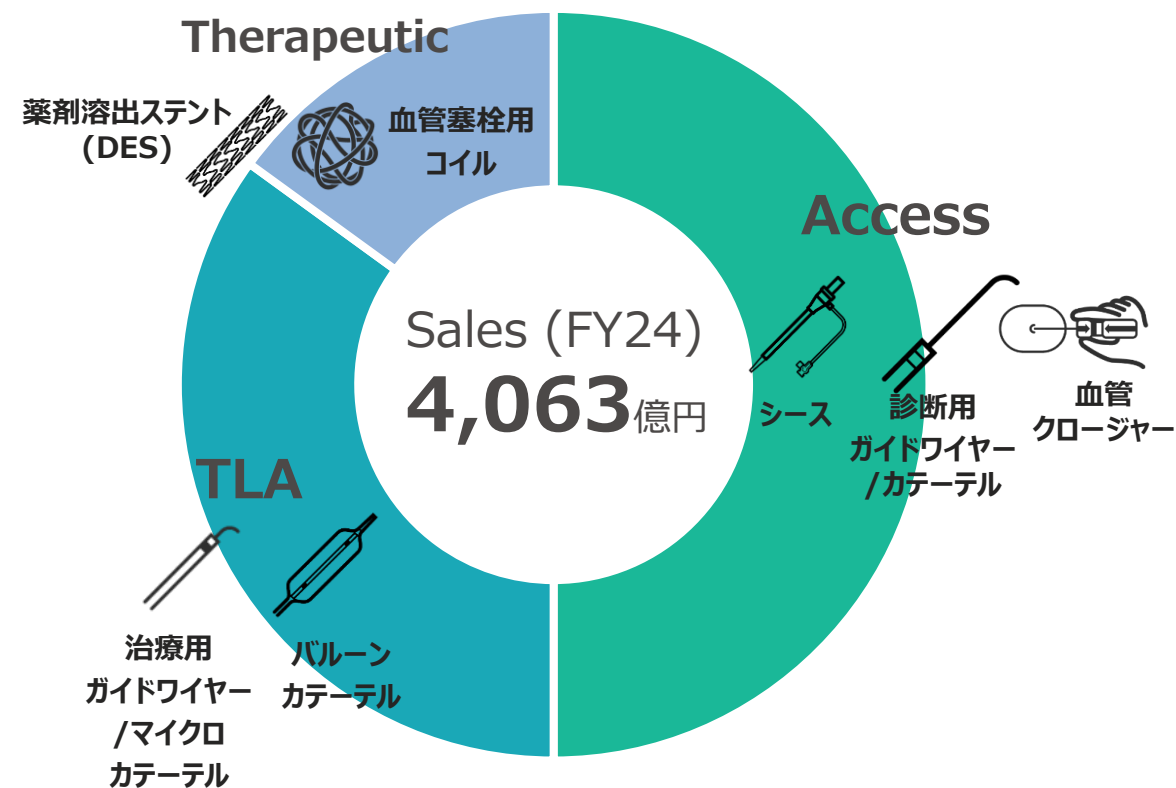
テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

TISの売上推移と内訳

Accessの安定成長と治療領域の高成長を実現



AccessとTherapeutic Lesion Access (TLA)で全体の80%以上を構成



TIS成長戦略ハイライト

■ 新たなドライバーも投入し、これまで同様に一桁後半の成長を持続

基盤ビジネスの
持続的な成長

1 Access
一桁中盤の成長
No.1マーケットポジションを維持し
安定した成長を継続

2 TLA
一桁後半の成長
Accessに続く第二の柱として
マーケットシェア拡大による高成長

新製品投入による
加速度的成長

3 Imaging
二桁成長
DSS (Dual Sensor System) の日米上市で
テルモのユニークなソリューションを提供

TISの強み

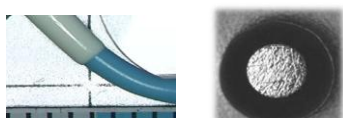
- 1 Access
- 2 TLA
- 3 Imaging

コアテクノロジー

親水性コーティング



細部に宿る精密な仕上げ



均質な多品種・大量生産

スケールメリットによる
価格優位性



ばらつきのない品質が、
医療現場での“いつもの感覚”を再現



ソリューション として提供

Radial Approach

R2P™ R2V™ R2N™
Radial to Peripheral — Radial to Visceral — Radial to Neuro

穿刺から止血までを網羅する
エントリーサイトマネジメントで
日帰り手術も可能に

アクセス

治療

止血

デジタルを活用した
Simulation-based
training



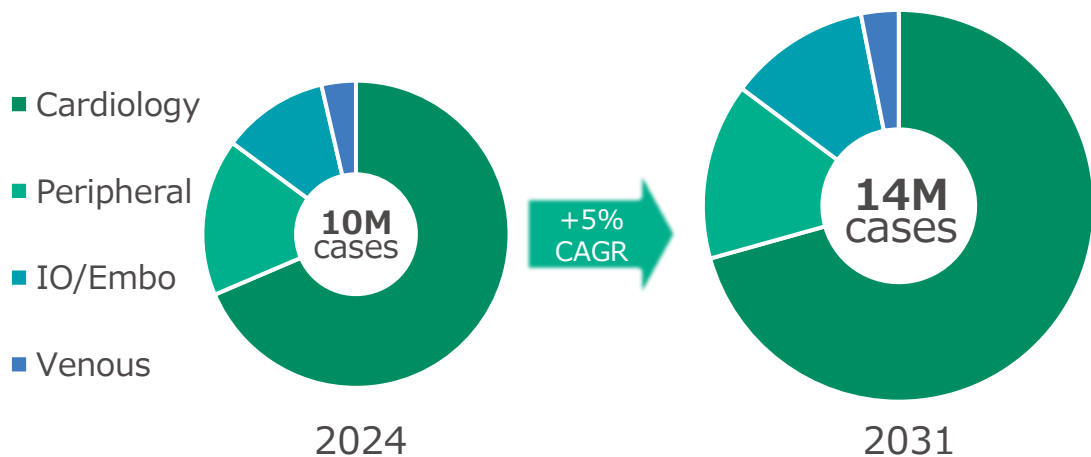
一般的に“Commodity”
とされる製品を
“高付加価値品”と再定義



Accessの成長機会は今後も持続的に拡大

インターベンション市場の持続的な成長

グローバルのインターベンション症例数は
CAGR+5%で成長見込み

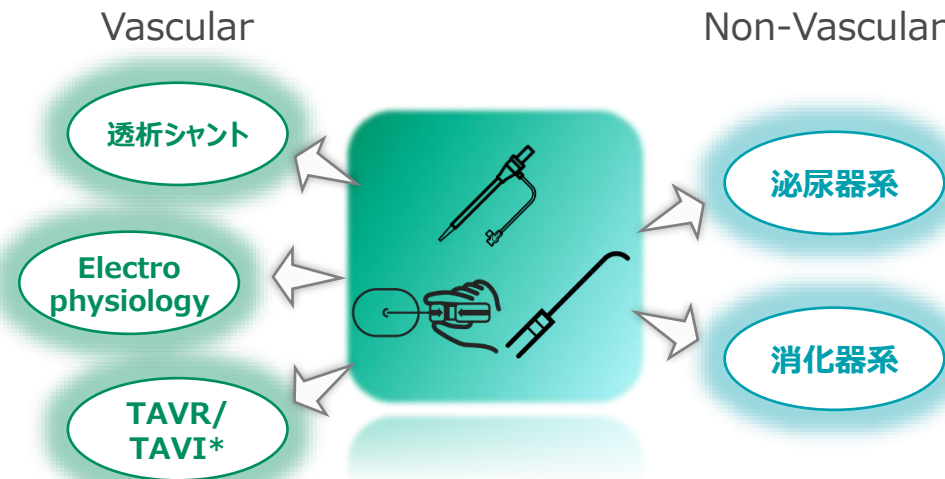


参照：Clarivate 及びテルモ調べ

No.1のマーケットポジションを維持
Radial Approachを普及することで成長を加速

メインセグメント以外の領域での広がり

高品質デバイスへの強い信頼で
アクセス領域において選ばれるブランドへと成長



*Trans Aortic Valve Replacement / Trans Aortic Valve Implantation

体内アクセスが必要な治療の増加に伴って、
アクセス製品の使用機会は今後も**拡大**

TLA市場においてもカテゴリーリーダーとしての実績を確立

Cardiology

主要製品



Runthrough™ NS
シリーズ

マーケットシェア*



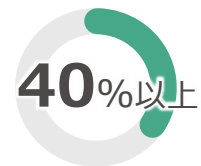
売上成長
(過去5年間CAGR)



Oncology

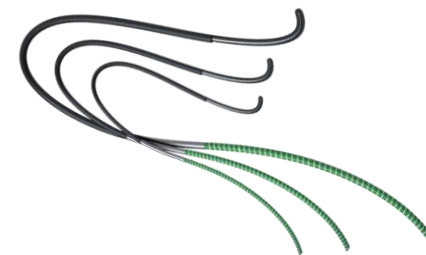


Progreat™
シリーズ

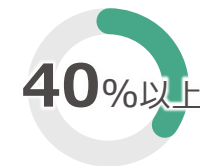


一桁後半

Endovascular



Glidewire Advantage™
シリーズ



二桁

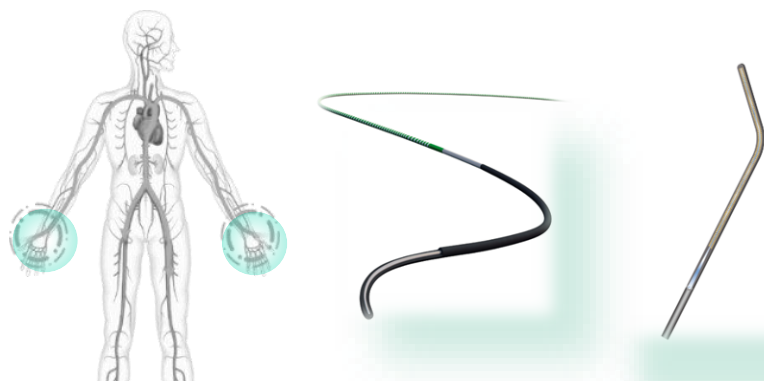
*参照：テルモ調べ（金額ベース）

TLA製品を組み合わせたソリューション提案、ラインアップ[®]拡充等により売上・シェア拡大

製品拡充と領域・地域展開の掛け合わせで成長を加速

製品ラインアップ拡充/強化

- 新製品投入・既存製品の改良改善
 - ラディアル手技普及（R2P用ワイヤー等）
 - 品種拡大（中国市場向けPTCAワイヤー）
 - Oncology領域ワイヤー改良品



事業領域/地域拡大

- 急速に拡大する慢性疼痛治療の運動器系（MSK）
塞栓術市場の拡大

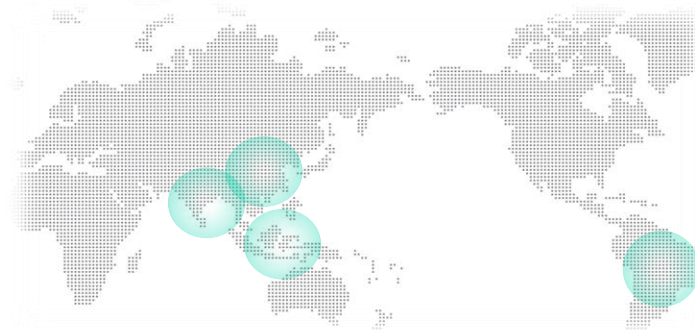
膝変形性関節症等



2035年
推定市場規模
\$500M以上

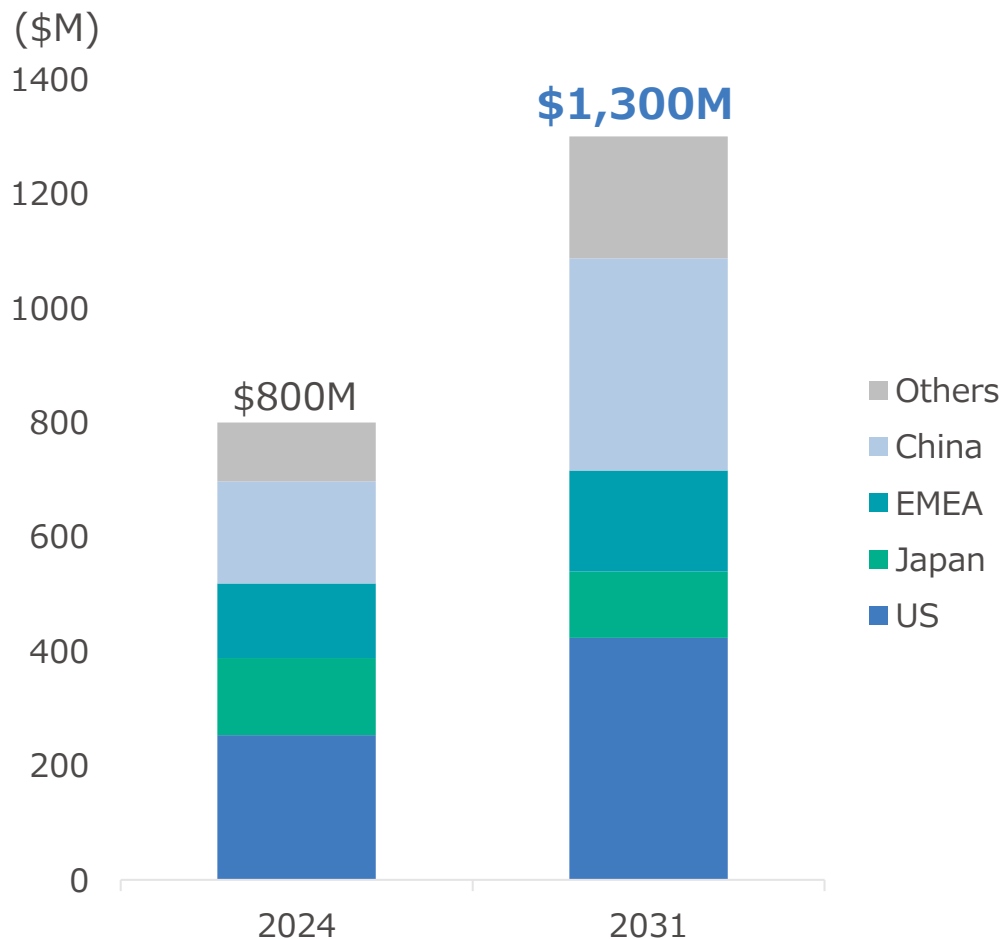
参照：テルモ調べ

- アジア・新興国地域への展開



Imaging市場概況

Imaging市場は北米と中国で大きく成長する見通し



参照：Clarivate 及びテルモ調べ

Imagingで治療成績が向上するエビデンスが確立

- ▶ 北米主要学会*では2025年のガイドライン改定で**最高推奨レベル**獲得

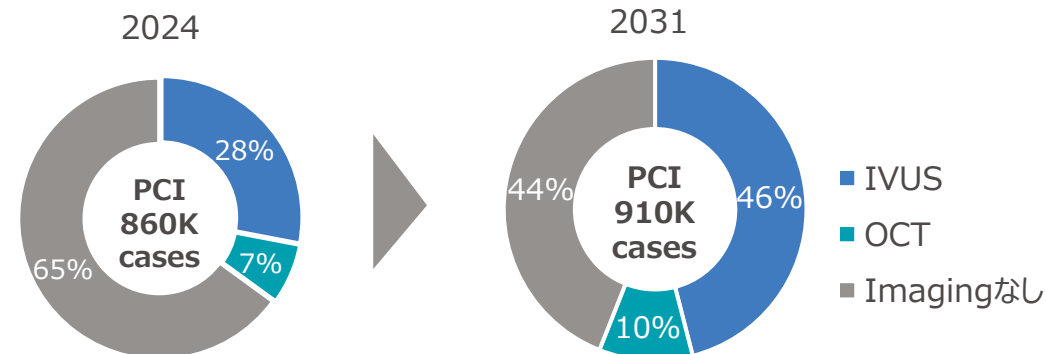
LMT**/複雑病変を有するACS**患者に対するIVUS/OCTガイドPCIが推奨クラス I・エビデンスレベルA

*AHA, ACC, SCAI等
**Left Main Trunk/Acute Coronary Syndrome

- ▶ 石灰化病変治療デバイスの普及

アテレクトミーやIVLデバイス使用時には**Imagingによる石灰化病変の評価が不可欠**

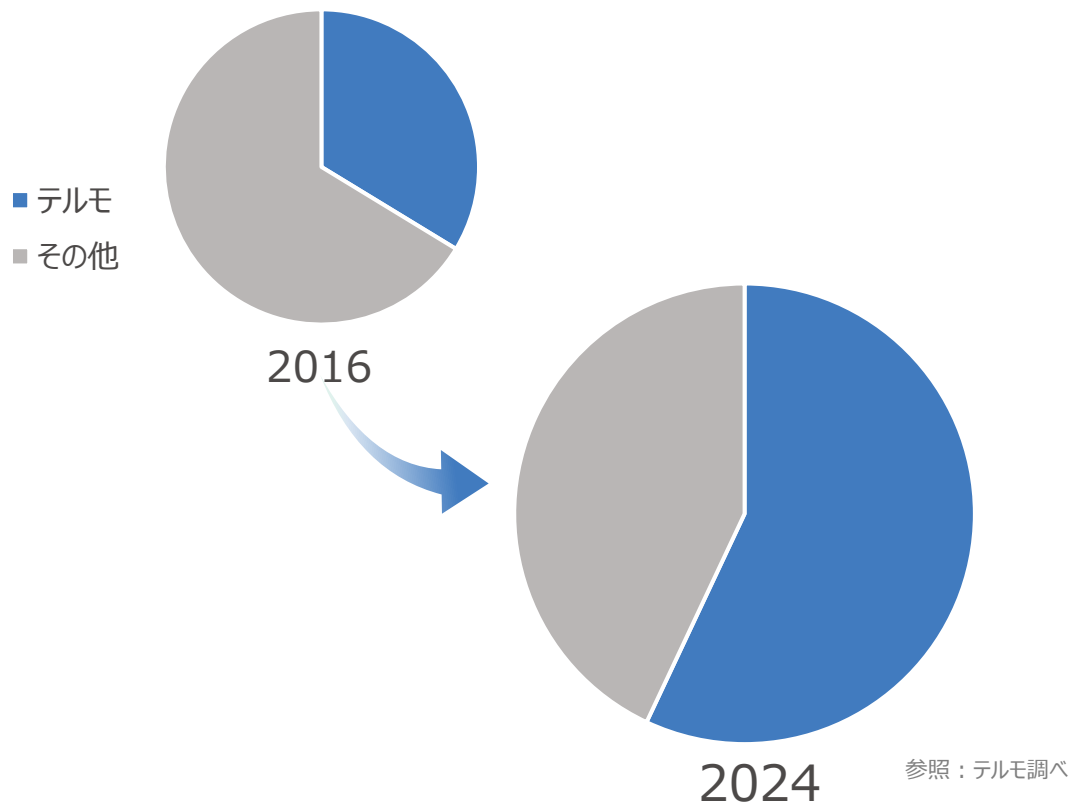
北米Imaging浸透率推移予測



参照：Clarivate 及びテルモ調べ

テルモのImagingは日本市場で圧倒的なプレゼンスを確立

PCIにおけるImaging日本市場シェア



日本ではほとんどすべてのPCIでImagingを使用
2016年のVISICUBE上市によってトップシェアを獲得

テルモImagingのソリューション

- 1 カテーテルの高い**通過性**
愛鷹工場で培ったカテーテル製造技術
- 2 **鮮明な画像**
60MHzの高画質IVUS
- 3 **簡便でスピーディな操作**
“QUICK IVUS”で治療の効率化をサポート

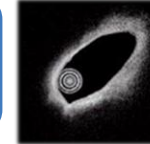
Imagingが**最も浸透し**、
Dr.の**習熟度が最も高い**日本市場で
最も選ばれているImaging

Imaging使用時にはIVUS/OFDI何れかを選択しなければならないのが現状



IVUS (超音波)

OCT/OFDI (近赤外線)



強み

血管全体がよく見える

血管内の微細構造や
ステントの状態がよく見える

適性症例

大径
血管

低
腎機能

石灰化
病変

分岐部
病変

ステント内
再狭窄

使用ステップ

血管径を把握
(ステント留置前)

ステント留置

ステント圧着を確認
(ステント留置後)

弱み

解像度が低く、
微細構造の把握には限界あり

深達度が低く、血管全体は把握できない
造影剤による血流フラッシュが必要

様々な要素を複合的に
考慮して適切なImaging
を選択するステップが発生

コストの制約があり
両方を使いたくても
使えない

DSS (Dual Sensor System) のソリューション

DSS

- ▶ 1本のカテーテルに超音波センサーと光学レンズを搭載し、**IVUS画像**と**OFDI画像**を同時に取得できる革新的なシステム
- ▶ 血管全体を把握できるIVUSと、血管内の微細構造を鮮明に可視化できるOFDIがそれぞれの特性を活かし、**相互補完的に機能**



あらゆる患者背景/病変性状に合わせて
常に最適な治療戦略の実現をサポート

最適な治療の実現
見たいときに見たい画像を提供し
治療戦略やデバイスを選択

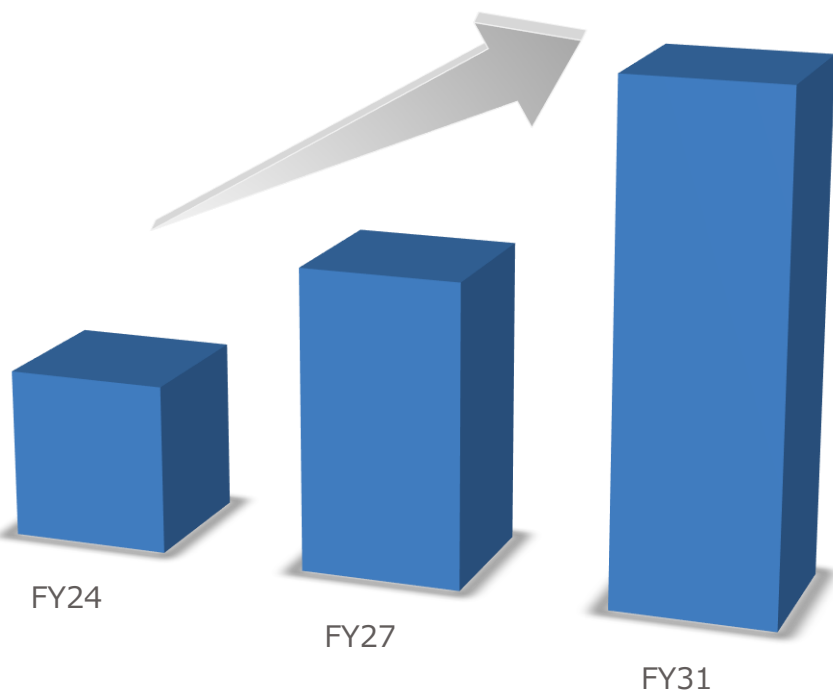
ユーザビリティ向上
IVUS/OFDIを選択する
ステップが不要

コスト制約からの解放
カテーテル1本で2つの画像を
一度に取得可能

造影剤量低減
必要な時だけ
OFDIスポット使用

業績見通し

DSS日米導入により、
Imagingセグメントの売上は**3倍超**へ



🇯🇵 トップシェアを維持、更なるシェア拡大へ

- ▶ DSSの精密な診断による治療戦略サポートにより、**高価格帯**でシェアを拡大
- ▶ これまで培った**教育プログラム**展開に加え、新たな**エビデンス構築**も視野に

🇺🇸 Imaging領域への新規参入へ

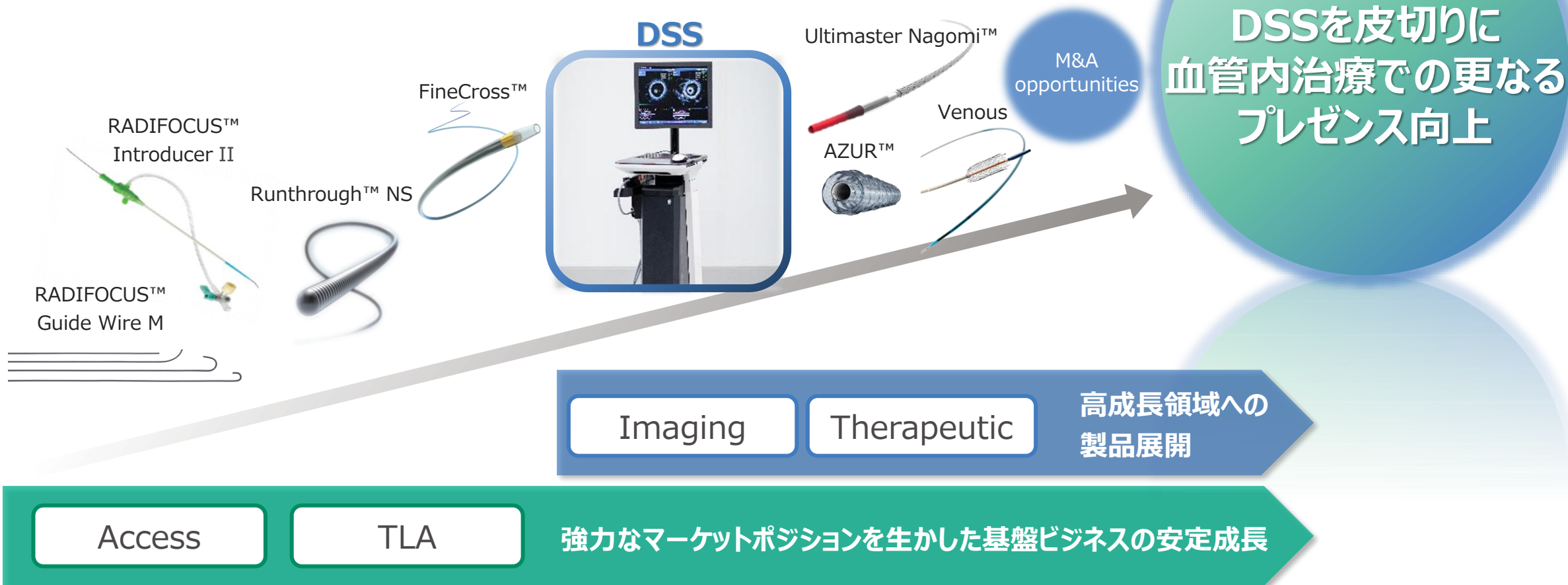
- ▶ **テルモImagingの強み**を活かしながら、段階的な市場参入、及び**サポート体制構築**でシェア獲得を目指す
- ▶ 今後**AIを活用したソフトウェア改良**でユーザビリティの向上へ

🌐 グローバル市場への更なる展開

- ▶ アジアや新興国等への地域拡大も視野に

将来のTIS

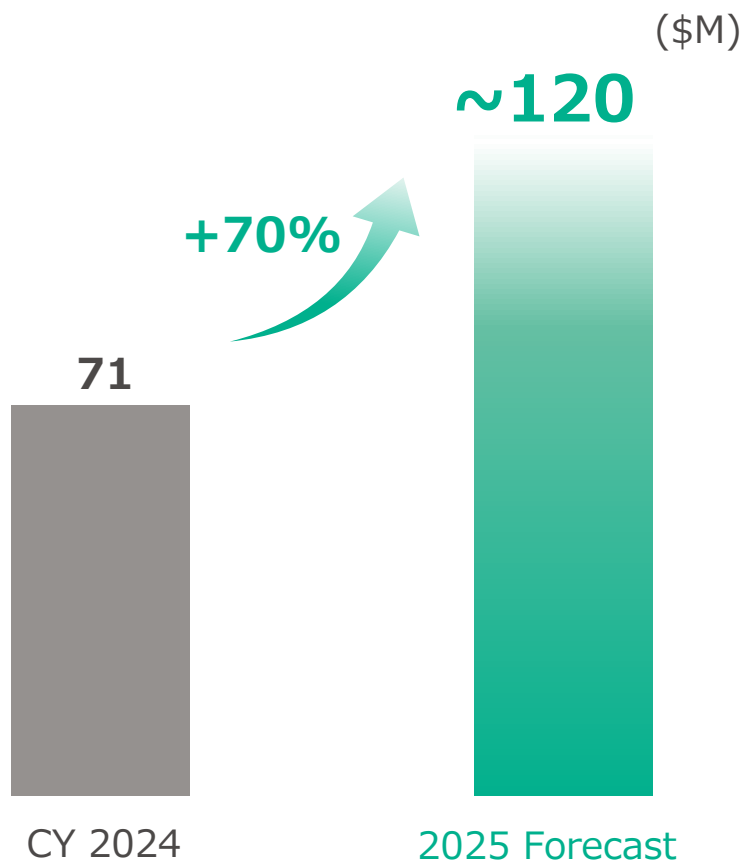
テルモのコアビジネスとして進化を続けることで全社の成長を牽引



OrganOx 買収完了後アップデート

急速な売上成長を継続

OrganOx社売上推移



肝移植件数の増加に加えて
マーケットシェアも上昇



NMP*の展開により肝移植件数が増加

*Normothermic Machine Perfusion

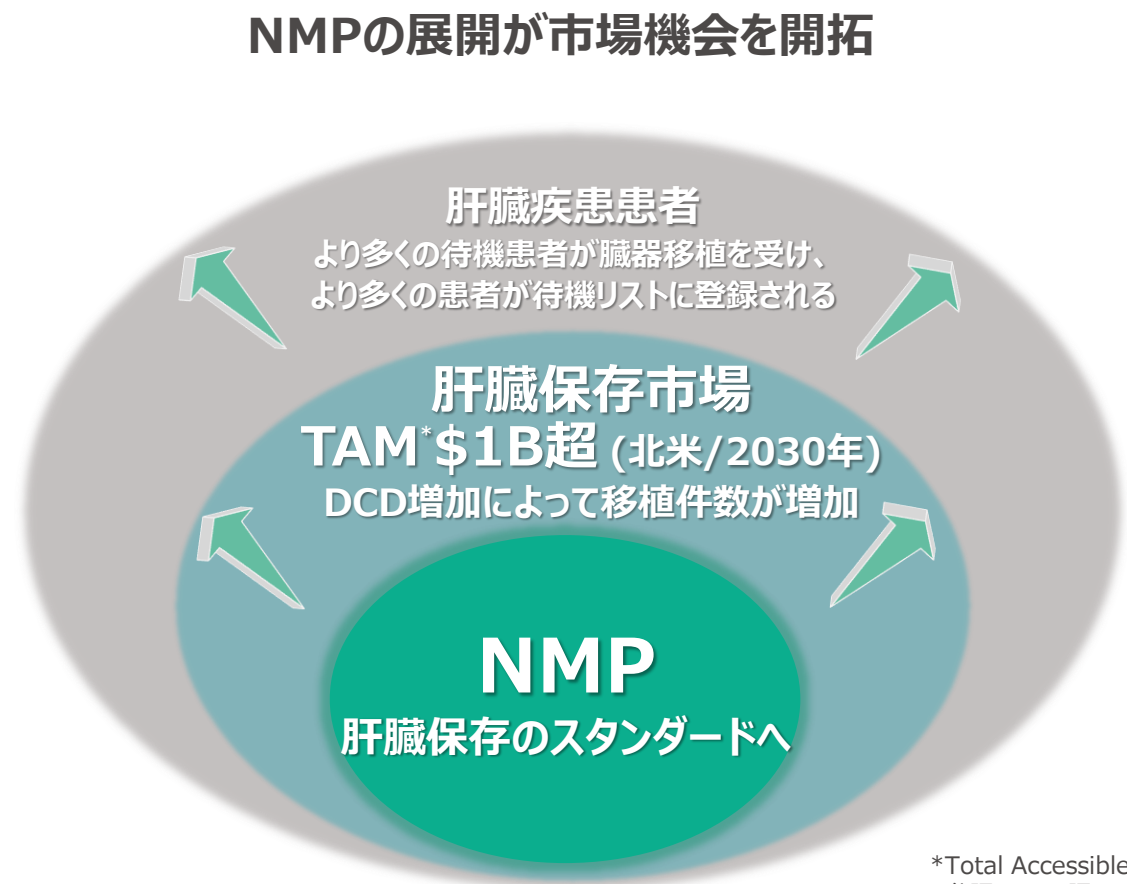
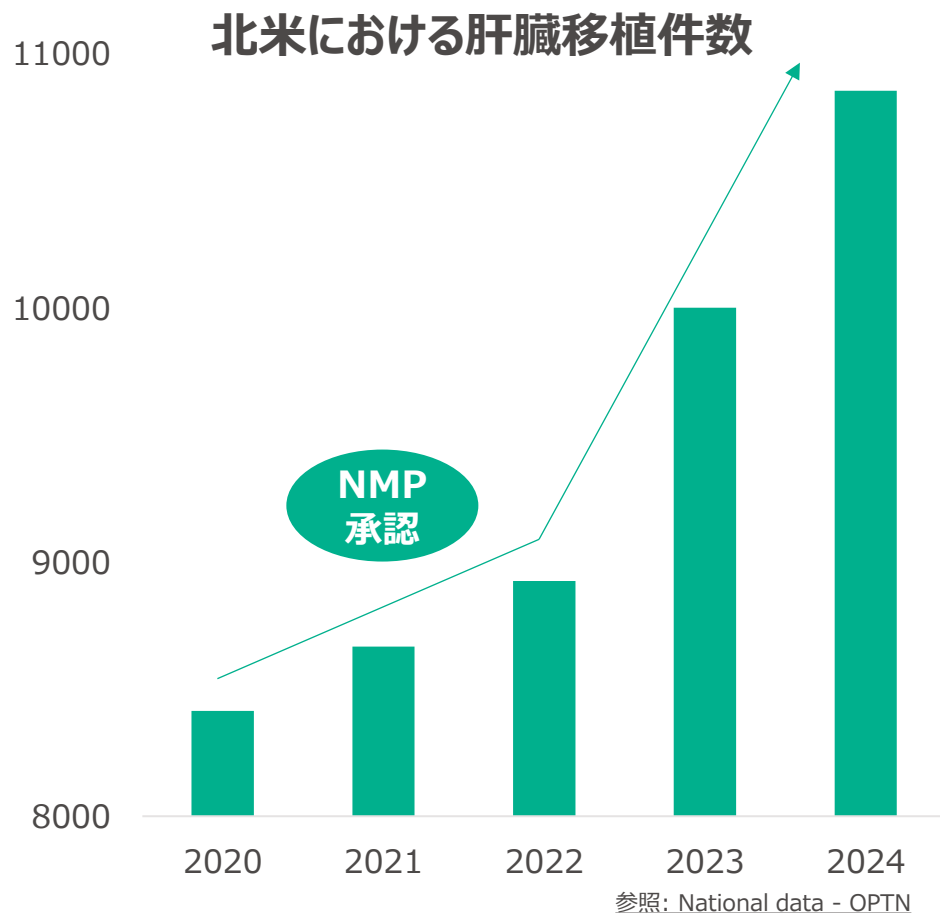


20%+のマーケットシェア
柔軟性の高い独自のソリューションで
四半期ごとにマーケットシェアを拡大

米国におけるDeceased Donorからの肝臓移植市場シェア (25年7月-9月)
参照：テルモ調べ (件数ベース)

Normothermic Machine Perfusion (NMP) の展開によって肝臓移植が増加

NMP承認以降、心停止ドナーからの肝移植が急速に進んでいる



*Total Accessible Market
参照: テルモ調べ

柔軟性の高い独自のソリューションでマーケットシェアを拡大



臓器の使用率向上

- ▶ リアルタイムモニタリング機能により、臓器を安定的に管理
- ▶ 臓器の機能を定量的に評価し、使用率向上

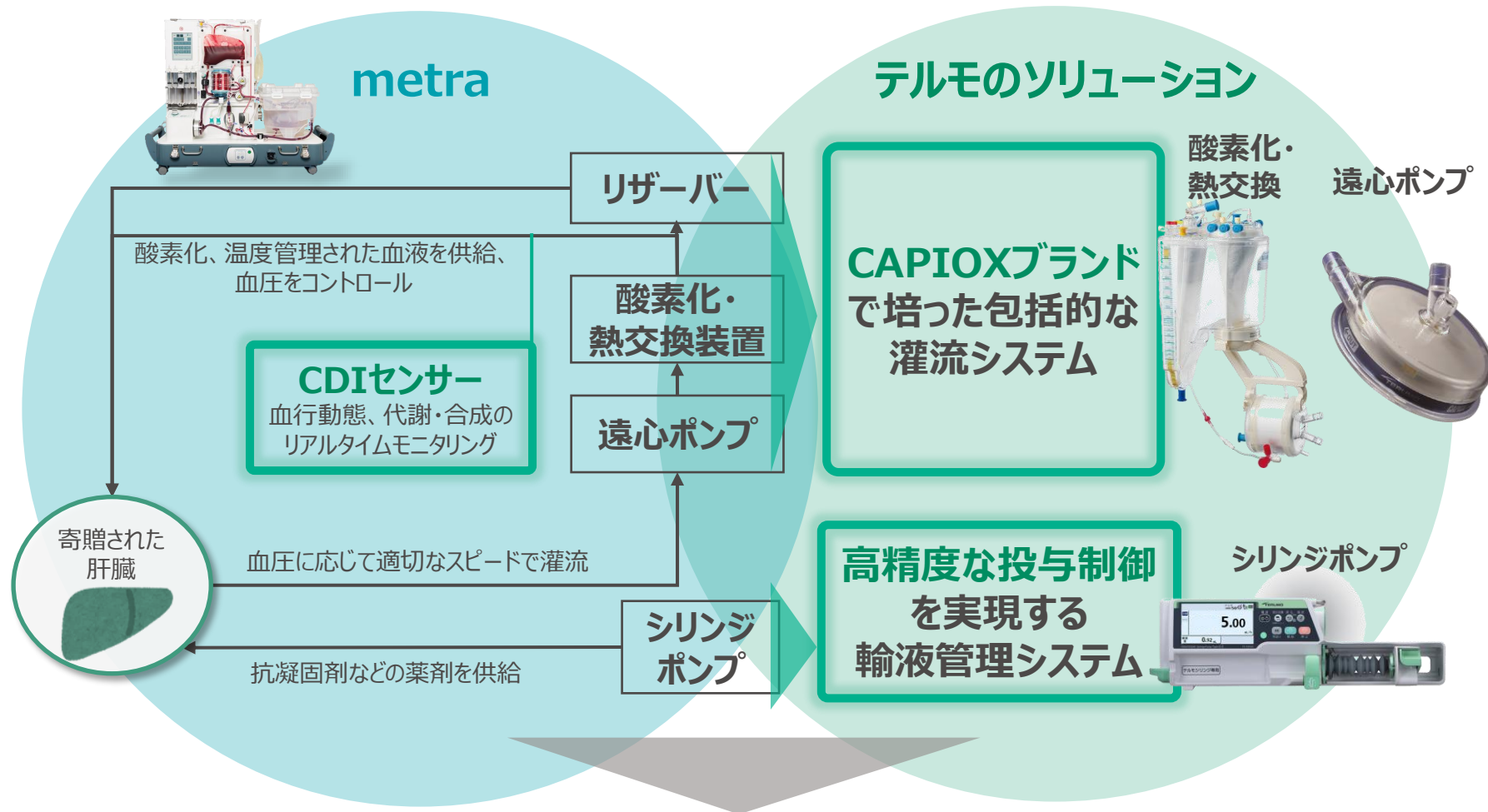
簡便な操作性

- ▶ 自動制御の比重が高く、医療従事者の負担を軽減
- ▶ “Start” “Stop” “Eject”の3ボタンで操作可能

優れた費用対効果

- ▶ 現場のニーズに合わせて最適な輸送方法とサービスをカスタマイズ可能
- ▶ 競争力の高い価格設定

両社の技術を組み合わせることでイノベーションを加速



革新的な臓器保存デバイスの開発とコストシナジーによる収益性向上を両立

